

第10回「戦争と医の倫理」の検証を進める会 世話人会報告

- ◇日時 2011年2月13日(日) 11時～17時
◇場所 全国保険医団体連合会 会議室
◇参加者 石川徹、西山勝夫各代表世話人、赤羽根巖、肥田泰、光石忠敬、山口研一郎、吉中丈志各常任世話人、岡田朝志、刈田啓史郎、川嶋みどり、末永恵子、村林彰各世話人
(事務局) 原文夫、相場康文、木村徳秀、杉浦秀明、室井正、小林耕治各氏

◇議長 石川徹代表世話人

◇報告・協議事項

1. 前回会議報告の確認について

第9回世話人会(11.1.23)会議報告は、提案通り了承。

2. パネル展示案、国際シンポ報告案に寄せられたご意見などについて

(1) パネル展示案、国際シンポジウム報告案への意見の要点について

事務局より報告された(詳細は「事前資料1P～52P」と「別冊配布」参照)。
寄せられた意見の概要は、

- ①パネル展示案各項目全体について(西山氏)
- ②ドイツ医師会の記述関連(市野川、吉中、小俣各氏)
- ③パネル案25P, 108P等の関連(原、西山各氏)
- ④個別の意見として蒔、松村、土屋、岡田、土山、山口、小俣各氏
- ⑤パネル80P「植民地ハンセン病対策」(花井氏)
- ⑥「医療倫理」関連のパネル検討案たたき台(川嶋氏)
- ⑦パネル原案P108「元731部隊員だった大阪の開業医」の修正案
- ⑧C班のパネル説明を受けての感想(蒔常任世話人)

(2) 会議運営の確認とC班に関するこれまでの検討経過について

今後のパネル案の検討を進める前提として、これまでの世話人会(常任世話人会)で確認してきた

- ①会議運営に関するこれまでの確認の内容(第3回常任世話人会10.4.11)
- ②C班(医療倫理)に関する世話人会(常任世話人会)での検討経過(これまでの会議報告からの抜粋)

について、事務局より確認内容の説明と検討経過の報告があった。

(3) 以上の寄せられた意見、及びこれまでの会議運営での確認とC班の検討経過をふまえた意見交換について

率直な意見交換の結果、今回の展示で、歴史検証から現代の医療倫理のあり方に触れる重要性は確認した。しかし、C班で作成したパネル原案の今後の整理については、C班関係者より、「世話人の辞退を表明された小松、田中両氏にC班として再度の協力を依頼したい。2人から協力を得るのがむずかしい場合は、C班の担当で、川嶋世話人から出された私案やA班の検証のまとめとして出された吉中常任世話人のメモなども活かして、枚数を縮小して整理することとしたい」旨の提案があり、了承した。

(4) 国際シンポジウムの日本からの報告への意見は議題の4(1)を参照

3. 明治大学登戸研究所資料館よりのパネル展示案（5枚）について

明治大学平和教育登戸研究所資料館より展示予定のパネル案が事務局より紹介された。パネル案は5枚でタイトルは、①登戸研究所とは、②登戸研究所の設立、③登戸研究所の研究・開発内容、④登戸研究所と関東軍防疫給水部のつながり、⑤資料館について、となっている。

4. 国際シンポジウムでの報告案、宣言案について

(1) 日本側の報告案について

報告者の刈田世話人より、日本側報告骨子案について、寄せられた意見を反映した第3次案を作成した旨の報告があり了承した。

(2) Till Bastian 氏からの報告について

メールで「報告」が事務局に寄せられた。今後、日本語訳を行い、日本側報告ともかみ合うよう、検討することとした。

(3) 国際シンポジウムでの宣言案について

起案者の西山代表世話人から宣言何の提案があった。討論では、第28回日本医学会総会が当会の要請を断った旨の経緯に触れているが、日本医学会とは今後できる限り共同していく観点から、触れ方について検討が必要では、との意見が出された。しかし、討論時間がなかったことから、今後の世話人会でさらに検討することとした。

5. パネル展示、国際シンポへの今後の準備、世話人会体制等について

(1) 鉄門記念講堂の第2会場等の確保について

会場の下見を行った。その中で、講堂の定員302人を越えた場合の対応として、講堂真下13階のセミナー室を第2会場として対応可能なため、仮押さえしたことが報告された。セミナー室は第6、7、8で160人可能。第8室は世話人会控え室を予定することを含めて、第2会場や懇親会場の確保を了承した。

(2) 「日独交流150周年」ロゴマーク使用規定

ドイツ大使館から事業認定された関係で、ロゴマークの使用規定を遵守するよう連絡をいただいた。ドイツ大使館で公表している認定事業一覧にも掲載された。

(3) チラシの印刷枚数と参加・賛同募金等の協力依頼など

チラシについては、5万5千枚とし、主な配布先についても了承した。また、開催の案内のチラシ送付とあわせて、改めて「参加と賛同募金のお願い」を各団体宛行うこととし、その文案も了承した。賛同者（約270人）、メール登録者（約70人）にも案内する。

(4) 次回世話人会に向けた作業予定について

次回2月27日（日）の世話人会でパネル案をまとめることを前提に、作業を進めることとした。

6. その他

<参考資料>

*医療倫理から見た、日本医師会長と日本医学会会長の「ことばの裏」
健保連 大阪中央病院 顧問 平岡 諦 氏の論文が紹介された。